

科目名 (Subject)	コンピュータサイエンスⅡ (Computer Science II)		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	加地太一 (Taichi Kaji,)	研究室番号 (Office)	315
Office Hours	随時 (事前にてE-mailで連絡のこと)		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method) ここではコンピュータサイエンスの根幹をなすアルゴリズムとデータ構造の問題、及び、現代的なプログラミング技法であるオブジェクト指向プログラミングに関するテーマを扱う予定である。一つのテーマとして、オブジェクト指向言語である C++などの学習、2つ目のテーマとしてアルゴリズムとデータ構造の検討と C++, C などによる構築、3つ目のテーマとして具体的にアルゴリズムの代表的な問題を扱い、詳細な議論を行うこととなる。ただし、本講義では上記の3つのテーマの中からいずれか一つを選択してゼミ形式で進める。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents) 目的、方法で述べた下記の3つのテーマの中から、本講義ではその年度において一つのテーマをピックアップしてゼミ形式で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オブジェクト指向プログラミング ● アルゴリズムとデータ構造 ● 組合せ最適化問題とアルゴリズム <p>また、C++, C などにより実際にプログラム構築を行い、理解の向上をはかる。</p> <p>3. 使用教材 (Teaching materials) 適時指示する</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading) 各自の発表とレポートを通して、調査、理解、分析、表現能力より総合的に評価を行う。</p> <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria) 社会情報コース標準成績評価基準に従う。</p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks) C 言語がすでに使用できること。すなわち、学部の講義で行われた情報処理、ソフトウェア科学の内容を理解していることが望ましい。また、多分に論理的能力が要求される。講義のテーマの選択はオリエンテーション時に決定するので、希望者は必ず出席すること (その日時は掲示するので注意すること)。テーマの選択は、学習者の能力、目的などによって決めるが、履修者複数の場合、必ずしも希望がかなうわけではない。</p>			